



こころのケア ~あとりえ・たらちねから~

「いわき放射能市民測定室たらちね」は東日本大震災により起きた福島第一原発事故で国や地方行政が混乱し迅速に行動できない中、子どもを守りたい一心で母親たちが立ち上げた放射能測定室です。

放射能汚染による見えない恐怖は母から乳幼児に伝わり緊張状態が続きました。12年経った今、乳幼児期の不安と緊張が疲労と怒りになり、家族に影を落としていることなど、時間が経っても解決しない深い状況があります。

「あとりえ」では箱庭あそびやお絵描き、工作など、子どもが自由に自分の感性を解放し、誰の邪魔も受けずに安心して遊びの世界に入りこめる守られた空間と、お母さんや子どもたちに「非言語」で皮膚や筋膜解放の施術を通じ、語らずとも安らぎを感じてもらおうボディワークやナラティブセラピーを提供しています。

「あとりえ」を始めて見えてきたことは、震災から年月が過ぎるとともに、こころのケアはより重要性を増しているということです。

震災当時は胎児、乳幼児だったお子さんが、今だからやっと言葉にできたり、態度に出せるようになってきました。こころの疲れはからだにも影響します。

言葉では表現できない不思議な感情が、こころとからだに湧き出ているケースがみられています。からだの怠さ、気力がわかない、親子がうまく向き合えず悩んでいる姿もみられます。単なる思春期とは片付けず、母と子の話を聞き、寄り添い時間をかけていくことで見えてくるものがたくさんありました。

お母さんのお腹の中で過ごした胎児期から今日までの話

をじっくり聞いてみると、震災当時の子どもの様子を思い出せない、どう遊び、何を食べていたかわからない、いつの間にか歩いていた、母乳から赤ちゃんへの被曝を恐れ断乳したなど、子どもを育てる一番大切な時期に、母親自身のこころが大きく揺れて不安定であったことがわかりました。

子どもが健やかに育つためには、お母さんが元気じゃないといけません。

原発事故から12年、これから先を私たち自身がどう生きるのか。地域の母親たちとともに子どもの成長を見つめ、守り支える活動を続ける中で、私たち自身のこころも支えられることと思います。子どもたちを守り支え育てることは、私たち自身が生きる支えでもあるのです。



矢吹 優美子

(認定 NPO 法人いわき放射能市民測定室たらちね)

一方、国は次世代を担う人材育成を「福島イノベーションコースト構想」の中で行っています。大熊町や双葉町など、福島第一原発の立地町では、幼稚園や保育園に通うような幼い子どもたちを呼び集め、「事故を起こした原発の町の次世代の担い手」として福島イノベーションコースト構想の構造に組み込み、育成しようとしています。

たしかに事故炉の収束に関わる人材は必要です。しかし、子ども達には夢や可能性を自由に描いてほしいのです。幼児・学童期から誘導する教育とならないよう願うばかりです。



オープンミーティング

みんながより生き生きと活動できるように



今年3月の第103回定期会員集会で承認されたように、「新しい組織の中で新たな活動づくりをし、より開かれた場で行うことで、より問い直しのできる組織となることを目指し」、すべてのグループが委員会に加わることになりました。

6月のキックオフ・ミーティングまでに、運営委員がそれぞれ担当するグループと説明・質疑応答の時間を持ち、各グループ内では、所属する委員会の検討を重ねました。

10月14日(土)のオープンミー

ティングではまず、グループがどの委員会に加わるかが発表されました(下記表参照)。そのうえで、3つの委員会ごとにテーブルを分け、2024年度の活動について、プロジェクトづくりワークショップをおこないました。また、プロジェクト代表・委員会運営メンバーも決まり、5つのプロジェクト案が発表されました。

これらの内容は、来年3月の第104回定期会員集会で議事として提案され、承認後4月からスタートすることになります。

(会長・木村 文子)

神戸YWCAの会員活動 (平和と人権センター)

環境・暮らし委員会

こふく
神福のはしごプロジェクト

文学講座 聖書を読む会

讃美歌を歌おうかい

2023年度
プロジェクト

グループ(通年)

世界・社会委員会

日本市民社会の民主主義を見直す～
日本の「民主」社会は外国人とどう
生きているのかプロジェクト

ジェンダーグループ 声の奉仕

夜回り準備会 平和活動グループ

ピース・ブリッジ

ユース・エンパ ワメント委員会

こどもいいんかいプロジェクト

マザースカレッジ企画会

愛農人倶楽部

◆ 会員の皆さま ◆ 次期運営委員・指名委員 候補者推薦のお願い

成人会員(18歳以上)の中から、次年度の運営委員・指名委員候補者の推薦をお願いいたします。運営委員の任期は1期2年で連続3期まで再選可能です。指名委員は任期が1期1年で、成人会員から3人、運営委員から2人が選出され、次年度の運営委員・指名委員候補者を選考します。推薦締切:2023年12月28日(木)
(指名委員会)

2024年度 標語聖句募集

来年度の活動の指針となる聖句を募集しています。メール・FAX・郵送などでお届けください。締切:2023年1月6日(土)
(運営委員会)

第104回 神戸YWCA 定期会員集会
2024年3月9日(土)

*詳細は後日ご案内します。

まごの手ヘルパー徒然記

ヘルパーの仕事は「日常生活」に密着しているため、その内容には曖昧さがたくさんあり、細かい取り決めがなされている。掃除でいえば、窓ふきなど窓の掃除は「大掃除」にあたるため、介護保険適用外である。しかし、窓があまりにも汚くなっていて、利用者が外をうかがうことができず困っている場合はどうか。ヘルパーから相談を受けたサービス提供責任者がケアマネジャーと相談して、「日

常生活に必要な掃除」として認めてもらえれば介護保険内で行うことができるかもしれない。一つのサービスをするか否か、一々相談をしないといけない。そんな決まりごとが窮屈に感じられ、利用者やヘルパーの自由裁量で行えるようになればもっと豊かなサービスになるのではないか、と思うこともある。しかし、もし自由裁量に任せて「何でもあり」



のサービスとなったら、ヘルパーの仕事そのものが「型」をなくしてしまい、崩壊してしまうだろう。共通のルールがあるからこそ、ヘルパーは安定したサービスを実施することができ、利用者もそれを享受できる。

細かなルールを踏まえたうえで、利用者寄りつつ、柔軟に動く。必要であれば、現場から社会へ、問題提起をしていきたいと思う。

(まごの手職員・藤井 かえ子)



会員活動報告

『After Me Too』上映会&ゲストトーク (ジェンダーグループ)

7月1日(土)~7日(金)

於・元町映画館、延 95 人参加

オンライン講座「今の福島を知る」(世界・社会委員会)

【第1回】10月19日(木)

「処理水? 汚染水? どちらが本当?」
満田夏花さん(国際環境 NGO FoE Japan)、28 人参加

【第2回】11月2日(木)

「汚染水は止められないの? 地質からみる止水とは」柴崎直明さん(福島大学共生システム理工学類教授)、23 人参加

【第3回】11月16日(木)

「原発事故後 12 年の歩み~測り続ける理由」認定 NPO 法人いわき放射能市民測定室たらちね

世界 YWCA/YMCA 合同祈禱週(キリスト教基盤委員会)

11月12日(日)~18日(土)

「種から花へ~手を取り合って、希望と愛を育てましょう」

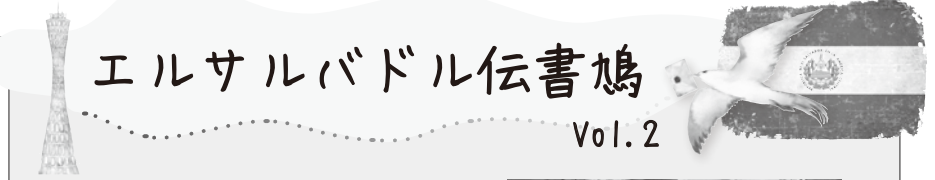
神戸 YWCA/YMCA 合同祈禱週礼拝

11月14日(火) 於神戸 YMCA
奨励「人をいかに言葉」(日本キリスト教団甲子園教会大仁田拓朗牧師)

セカンドハウス・夏

コロナで数年動きがなかったセカンドハウスでしたが、今年の夏は嬉しいことに4家族の利用があり、メンバーの協力を得て、無事にお迎えお見送りができました。

それぞれ、淡路島の海、鳴門の渦潮、姫路城、甲子園での野球観



エルサルバドル伝書鳩

Vol.2

Hola! 私はいま、エルサルバドルのサンイグナシオ市で生活しています。同市は気温も20度台が多く、道端での挨拶や会話も盛んで、心身共に過ごしやすい町です。しかし、生活や活動の中で、文字の読み書きができない人との出会いや、男性優位主義の生活スタイル、雇用の不足、化学肥料による土壌・水汚染などの課題も存在しています。JICA 海外協力隊の活動として、ジェンダーワークショップの実施や、蜂蜜・有機肥料の販売促進を頑張りたいと思います。



ププサ

ところで、エルサルバドルの誰に聞いても好きな食べものに Pupusa (ププサ) があります。1枚100円前後で、クルティードと呼ばれるみ漬物と、トマトソースと一緒に食べます。帰国したら、一緒にププサを囲む会を楽しみましょう!
(福田 百)

金曜日の、なだのはまエイト

7月から毎週金曜日に滞在する管理ボランティア。でも、今はただ「なだのはまエイトの掃除のおばちゃん」といったところ。テラスや前庭を掃いたり雑草を抜いたりしている時に傍を通過して行かれる方があり、「YWCA」を知っていただきたくて声をかけます。

最初はいつも近辺の掃除をしておられる男性、挨拶しても返事なし。

戦など、短い期間を楽しまれたようです。皆さんから現在の福島の様子も聞くことができました。

改めて保養の必要性を感じ、これからも福島に関心を持ち続け、多くのご家族を神戸でお迎えしたいと思います。
(山本 容子)

シャイ? 人嫌い? 気にしつつ何度か顔を合わせているうちに、ついにお喋りができるようになりました。ある日、YWCAの旗を見て「WCって何かな?」と質問。私の説明に「ああ、キリスト教か」ですって。トイレじゃないよと大笑い。

西隣のURからこちらへ引っ越してきたという初老のダンディーさんからは「W、女性の団体はいいですね。Mと違ってきめ細やかで行き届いていて・・・」と好意の言葉。「ここで、今日はなにがあるの?」と興味津々の方には、野菜の移動販売車が来ることやミニミニバザーの案内なども。

こんな出会いをきっかけに、自然に地域の方々の日常もお聞きでき、さらには私たちの活動の紹介もできるのは、今の私の役得かしら?
(平山 芳子)



私は東京出身ですが、6年前、父の転勤で幼少期

過ぎた神戸に引越してきました。長年の仕事を早期定年退職し、日本語教師養成講座と介護職員初任者研修を受講したばかりでした。

早朝ウォーキングをしていた時に神戸YWCAのおしゃれな建物を見つけました。介護事業も日本語クラスもあり、びっくりしました。掲示板に日本語ボランティア養成講座を見つけ早速受講、担当の講師から「はっぴー・すくーる」を紹介していただき、ボランティアを始めました。いろいろな外国ルーツの子どもたちの国を調べたり地球儀も買いました。その刺激を受けて、私はとうとう98日間世界一周の船旅に出発しました。地球は思ったより小さく、世界で起こっていることはすぐ近くだと感じました。

最近の「はっぴー・すくーる」では、私自身が一番楽しんで参加しています。神戸YWCAは私の人生に刺激と喜びを与えてくれます。感謝の気持ちで、最近神戸YWCAの会員になりました。まずは機関紙を読むことからスタートです。
(速水 靖子)

神戸YWCAへの おさそい



アクセス

*予定は変更されることがありますので、ホームページ・SNS等で最新情報をご確認ください。

●わいわいデイルーム 会館

(神戸市地域拠点型一般介護予防事業)
毎週火曜日、10時～15時
対象：神戸市内にお住まいの65歳以上の方で、
ご自分で通って来られる方。
*お近くの「あんしんすこやかセンター」で
お申し込みください。

●カフェもぐもぐ その他

若年性認知症の人と仲間たちのつどい
2024年1月13日(土)、2月3日(土)
*12月はお休みです。
10時30分～15時
場所 日本基督教団神戸聖愛教会
参加費 800円(食事付)
要予約、詳細はお問い合わせください。

●木曜カフェ 会館

第2・4木曜日、13時30分～15時30分
*12月は第1・3木曜日に開催します。
12月21日(木)は13時30分～
レコードで懐かしい音楽を聴きながら
ほっこりしませんか？(1ドリンク100円～)

●上映会『ぼくたちは見た—ガザ・サムニ家 の子どもたち』 会館

12月2日(土)16時～17時30分
参加費 500円
申込方法：11/30(木)までに、電話またはメール
で事務局へお申し込みください。
主催 神戸YWCA 世界・社会委員会

●なだのはまエイトクリスマスバザー

12月3日(日)13時～15時
場所 市営HAT神戸・灘の浜住宅8番館 南集会所
洋服、小物雑貨、食品とカフェ



2023年12月2日(土)13:30～15:00

神戸YWCA 会館5階チャペル

お話 柴田 富士子さん(神戸YWCA会員)

リタナー(平和を求める祈り)

茶話会とクリスマスマーケット

クリスマスカード、手づくりの焼菓子、雑貨など

冬季 休館

2023年12月29日(金)～2024年1月5日(金)
(まごの手・保育園を除く)

■学院だより

今年も9月15日から12月14日まで、兵庫県立神戸高等技術専門学院の委託公共職業訓練「定住外国人向け日本語・就業力スキルアップコース」を実施しています。希望職への就職を目指して、日本語やPCなどの訓練が続きます。また、神戸YWCAの保育や介護の仕事についても授業で紹介しています。訓練の様子はSNS投稿をご覧ください。

(学院長・西本 玲子)
←学院
 Facebook ページ

■保育園だより

二宮市場の岩田屋さんから、かつお節が届きました。不思議なものを見つけた子どもたちは大騒ぎ。透明な袋を上からぎゅっと押してみても「これなに?」「これはね、みんなが大好きなおみそ汁を作るかつお節だよ。」「???'」

そういえば、今年は、味噌汁のだしをとっているところをまだ見せていなかった!
(園長・梅川 玲子)

■まごの手だより

「居宅介護支援」は、ケアマネ1人で29件のケアマネジメントを行っている。

「訪問介護」は、新しく2人の登録ヘルパーを迎えた。働きやすい事業所を目指して、常勤職員を引き続き募集している。

「生活支援わいわい」のメンバー登録数は15人。9～10月は掃除3件の利用があった。

「居住支援」は、9～10月で、8件の入居前相談を受けた。入居後の支援も行っている。行政や相談機関からの依頼が増加している。

(所長・寺内 真子)

■運営委員会報告

6月10日、第3回運営委員会、出席4人【報告】●日

本YWCA中央委員会●HAT神戸灘の浜プロジェクトバザー【議事】●キックオフ・ミーティング振り返り●会費アンケート。

7月8日、第4回運営委員会、出席5人【報告】●日本YWCA研修●地域YWCA関連【議事】●日本YWCA研修受講●8・6新聞意見広告(募金全額振込済)●会員アンケート●オープンミーティングの具体化。

9月9日、第5回運営委員会、出席6人【報告】●理事会補正予算●日本YWCA研修●地域YWCA関連●HAT神戸灘の浜プロジェクトバザー、●神福のはしごプロジェクト学習会【議事】●会員アンケート回収進捗●各グループ所属先委員会発表●オープンミーティング内容決定。

10月14日、第6回運営委員会、出席6人【報告】●理事会補正予算●日本YWCA研修●HAT神戸灘の浜プロジェクトバザー●会員アンケート回収状況【議事】●オープンミーティング振り返り●定期会員集会に向けたスケジュール確認。(書記・住田 サラ)

■理事会報告

7月29日(土)第2回理事会。出席理事7人、監事2人。アドバイザー退任報告と新アドバイザー就任について承認。また財政と人事に関して神戸YWCA

冬季 クリスマス 募金

にご協力ください

郵便振替

01100-0-10298
公益財団法人神戸YWCA

*通信欄に「冬季クリスマス募金」とご記入ください。

他の寄付方法も
お選び頂けます。
詳しくはHPを
ご覧ください→



全体に重要な影響を及ぼすものについて、その方向、内容を検討する「財政チーム」「人事チーム」設置が承認された。

9月25日(月)第3回理事会。出席理事7人、監事2人。アドバイザー設置要綱について承認。また財政チームから提出された2023年度補正予算について検討・承認された。

(総幹事・西本玲子)

■賛助員

上 紀子 宮田 輝雄
小室 こゆみ 島本 健二
平木 貴美子 (敬称略)

■賛同・後援

●兵庫の「語りつごう戦争」展呼びかけ人(12月6～10日、於・妙法華院) ●日本YWCA要請書「現在ガザ地区で起きているジェノサイドを止める報道を!」 ●神戸いのちの電話「第40期電話相談員養成講座・連続公開講座」後援

■編集後記

ウクライナに次いでパレスチナ。どれだけの命が失われれば。数ではない。その命には一人ひとりの名前がある。私の命と同じように。(H・N)

子ども日本語 トータルサポート募金

募金期間を2024年3月31日まで延長しました。引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

神戸YWCA夏季募金報告

募金総額：1,018,000円
(2023年6月～9月30日)

ご協力くださいました皆さまに心より感謝申し上げます。

ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、担い手となって働きませんか。

◆ホームヘルパー

常勤 月給198,100円～
パート 時給1,100～1,200円
登録型 時給1,000～1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

◆生活支援訪問
サービス従業者 900円/回

神戸YWCA
まごの手

☎078-231-3156